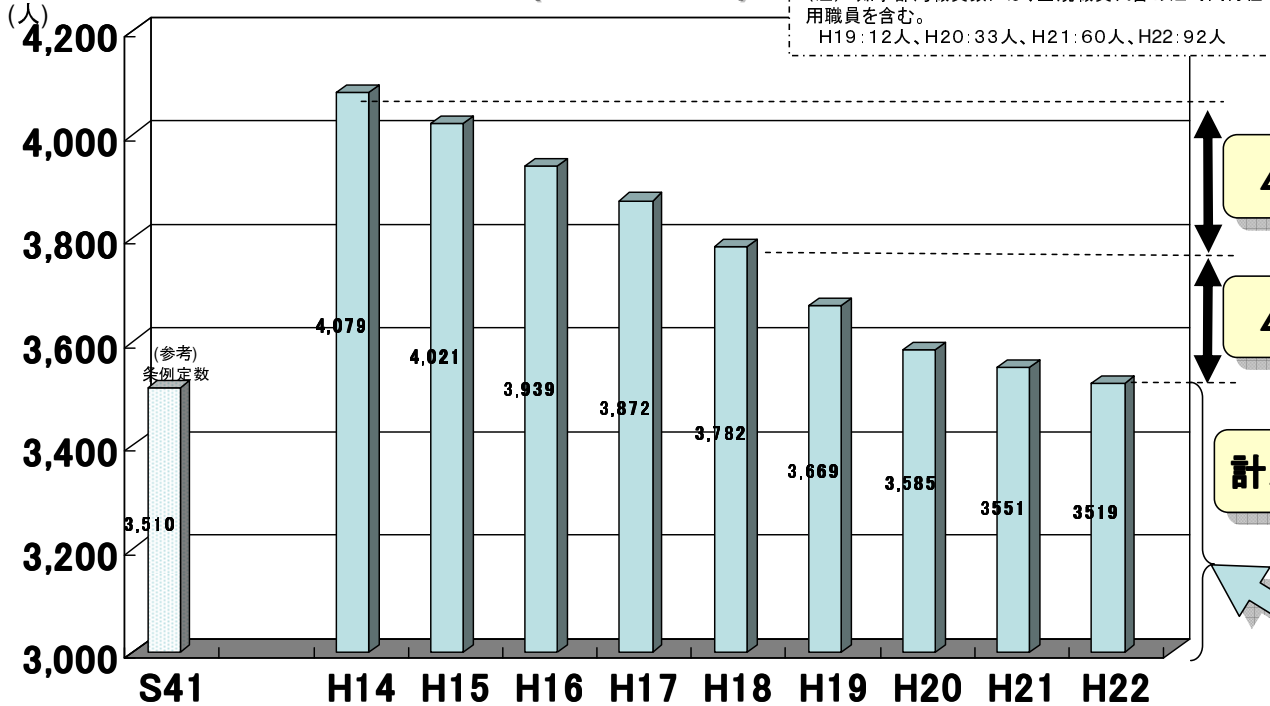


# 職員数の推移について

## ■ 知事部局の職員数の推移(H14~H22)



(注) 知事部局職員数には、正規職員代替の短時間再任用職員を含む。  
H19:12人、H20:33人、H21:60人、H22:92人

平成14年12月策定  
石川県新行財政改革大綱  
定員適正化計画を策定し、知事部局の職員数を10年間(H15年度~H24年度)で10% (400人程度)削減(前期5%、後期5%)

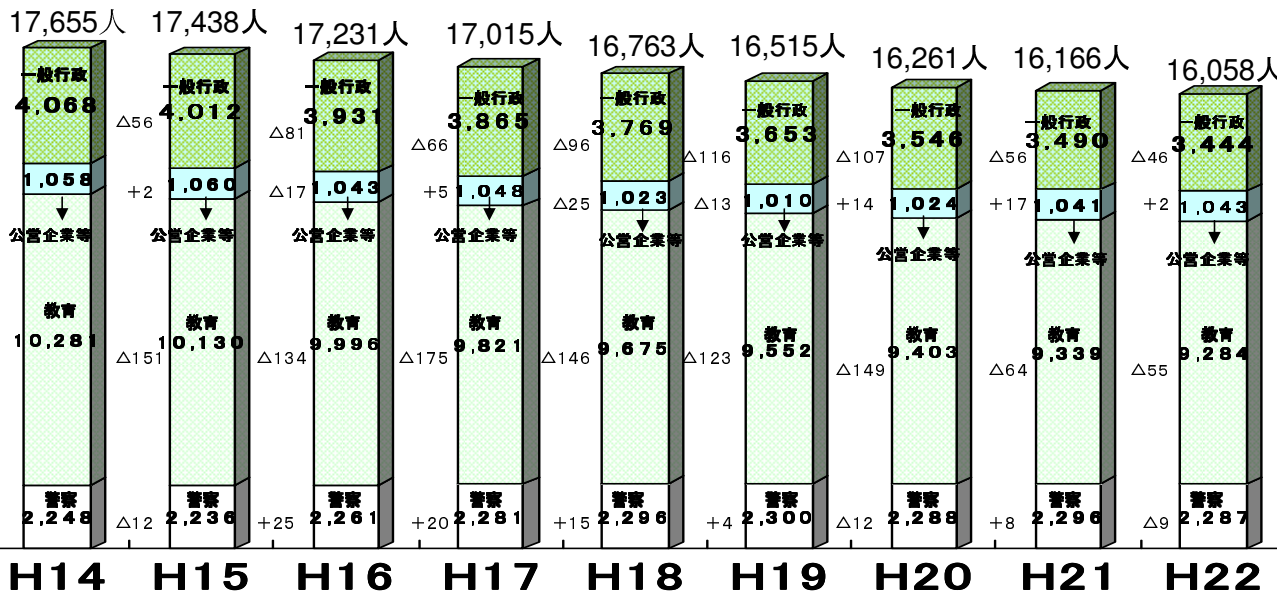
平成17年3月一部改定  
石川県新行財政改革大綱  
定員適正化計画を策定し、知事部局の職員数を10年間(H15年度~H24年度)で450人程度(前期300人程度、後期150人程度)削減  
1年前倒しで達成

平成19年3月策定  
石川県行財政改革大綱2007  
現行の定員適正化計画を見直し、知事部局の職員数を5年間(H19年度~H23年度)で250人程度削減  
1年前倒しで達成

△297人削減  
△263人削減  
計△560人削減

S41年と同水準  
(S41条例定数 3,510人)

## ■ 石川県職員数の推移(H14~H22) <総務省定員管理調査>



対H14比  
△9.0%  
△15.3%  
△1.4%  
△9.7%  
+1.7%

教育部門及び警察部門については、その多くは国の基準に基づき配置

【教育部門】  
教育委員会事務局、美術館、歴史博物館等の職員(H22: 540人)を除き、教職員は「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」等に基づき配置

【警察部門】  
事務職員等(H22: 352人)を除き、警察官は「警察法」及び「警察法施行令」に基づき配置

<参考>一般行政職員数(H22: 3,444人)について  
知事部局職員数(3,519人)に行政委員会事務局等を加え(62人)、教育部門(美術館、歴史博物館等)、競馬事務局及び短時間再任用職員等(合計137人)を除いたもの